Title	二分決定グラフによる列挙の幾何への応用 : 正多面体の列挙
Author(s)	堀山, 貴史
Citation	2010年度科学技術振興機構ERATO湊離散構造処理系プロジェクト講究録. p.283-286.
Issue Date	2011-06
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/48417
Type	conference presentation
Note	ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト春のワークショップ（キックオフシンポジウム）. 2010年5月28日（金）～29日（土）. ERATO湊プロジェクト研究室.
File Information	01.horiyama_06.pdf

二分決定グラフによる列挙の幾何への応用 ～正多面体の列挙～

堀山 貴史 (埼玉大学)

第1回 離散構造処理系シンポジウム (2010年 5月 28日)

1

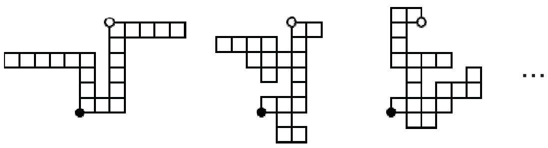
研究テーマ

- BDD 関連
  - 乗算の各ビットを表す BDD のサイズは、どんな変数順序でも指数　[Bryant 1991]
  - 除算の各ビットも指数
  - データを BDD で表して、推論
    - 与えられた BDD は単調関数か？、Horn 関数か？
    - 性質 f が成立するか？
    - 事象 x_q が成立する条件？ ($x_a x_b$ … → x_q となる $x_a x_b$ … を探す)
- VLSI 設計 関連
- オンライン･アルゴリズム 関連
- オークション 関連
- 列挙アルゴリズム 関連
  - タイリングの列挙

2

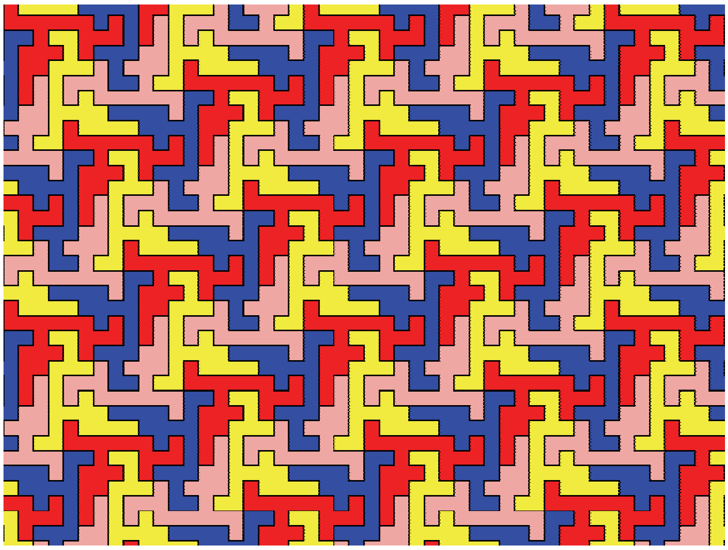
タイリングの列挙

タイリング図形を次々と見せてくれるウェブページを用意しました
http://www.al.ics.saitama-u.ac.jp/horiyama/research/



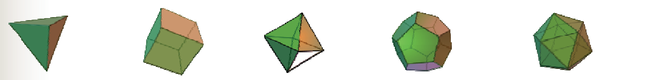
タイリング：
絵画 (エッシャーなど)、織物、壁面装飾、工業製品のデザイン、結晶物理学など
身の回りに色々な形で見られます
エッシャーの絵は http://www.mcescher.com/ に沢山あります

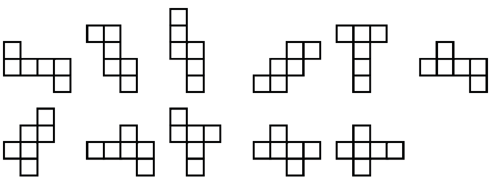
4



正多面体の展開図の列挙

正四面体	正六面体	正八面体	正十二面体	正二十面体
2 種類	11 種類	11 種類	43,380 種類	43,380 種類



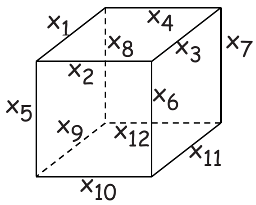


多面体の図は wikipedia より
http://en.wikipedia.org/wiki/Platonic_solid

10

正多面体の展開図の列挙

- 各辺の「切る」/「切らない」を、論理変数で表す



- 展開図になるための制約条件を、BDD で表す
  → 1-path 1 つが、展開の仕方 1 つに対応
- 対称性を排除する
- 「切る」/「切らない」をもとに、展開図を作成

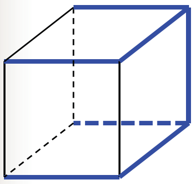
11

展開図になるための制約条件

- 展開図

⇔「切る」辺が、全域木になる ［文献 (?)］

⇔ 1.「切る」辺は、頂点数 - 1 本
　2. 各頂点には、「切る」辺が少なくとも 1 本
　3.「切る」辺がサイクルを持たない



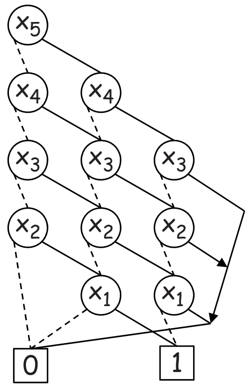
12

展開図になるための制約条件 (1)

- 「切る」辺は、頂点数 - 1 本

Ex) 2 out of
5 possible positions

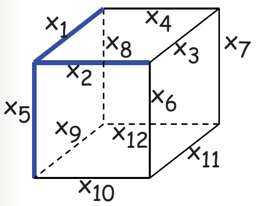
1 の個数を数える



13

展開図になるための制約条件 (2)

- 各頂点には、「切る」辺が少なくとも 1 本

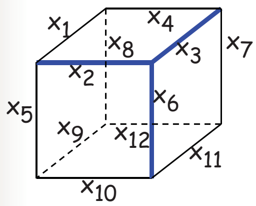


$(x_1 \vee x_2 \vee x_5)$

14

展開図になるための制約条件 (2)

- 各頂点には、「切る」辺が少なくとも 1 本

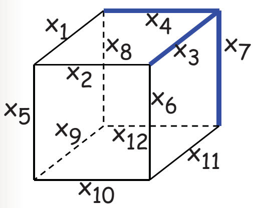


$(x_1 \vee x_2 \vee x_5)$
$\wedge (x_2 \vee x_3 \vee x_6)$

15

展開図になるための制約条件 (2)

- 各頂点には、「切る」辺が少なくとも 1 本

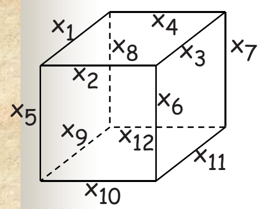


$(x_1 \vee x_2 \vee x_5)$
$\wedge (x_2 \vee x_3 \vee x_6)$
$\wedge (x_3 \vee x_4 \vee x_7)$
$\wedge \cdots$

16

展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
　= ¬ (「切る」辺がサイクルを持つ)



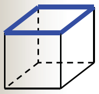
サイクル
… 各面の周囲を貼り合わせたもの
→ 面を 1 つずつ加えて、
　サイクルを列挙する

17

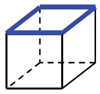
展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
  = ¬ (「切る」辺がサイクルを持つ)

追加する面



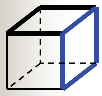
追加する
サイクル



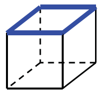
展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
  = ¬ (「切る」辺がサイクルを持つ)

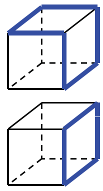
追加する面



持っている
サイクル



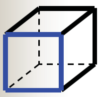
追加する
サイクル



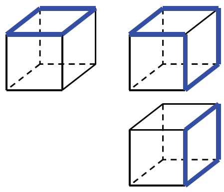
展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
  = ¬ (「切る」辺がサイクルを持つ)

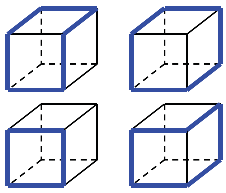
追加する面



持っている
サイクル



追加する
サイクル



追加するサイクル
・面の周囲
・持っているサイクルに、面の周囲で「切る」/「切らない」を反転

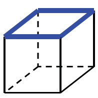
展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
  = ¬ (「切る」辺がサイクルを持つ)
- サイクルの列挙
  - $f_{\text{サイクルの集合}} := 0$
  - foreach 面 ($x_{i1}, x_{i2}, x_{i3}, x_{i4}$) {
    - $f_1 := x_{i1} \wedge x_{i2} \wedge x_{i3} \wedge x_{i4} \wedge$ 他変数の負リテラル
    - $f_2 := f_{\text{サイクルの集合}}$ のBDDで、
      $x_{i1}, x_{i2}, x_{i3}, x_{i4}$ の 0-枝 と 1-枝を入れ替える
    - $f_{\text{サイクルの集合}} := f_{\text{サイクルの集合}} \vee f_1 \vee f_2$

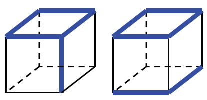
    }
  - $f_{\text{サイクルの集合}} := f_{\text{サイクルの集合}} \wedge \underbrace{(x_1 \vee x_2 \vee \cdots \vee x_n)}_{\text{「全辺 切らない」を除外}}$

展開図になるための制約条件 (3)

- 「切る」辺がサイクルを持たない
  = ¬ (「切る」辺が**サイクルを持つ**)
- **サイクルの列挙**



$f_{\text{サイクルの集合}}(111100000000) = 1$



$f_{\text{サイクルの集合}}(111101000000) = 0$
$f_{\text{サイクルの集合}}(111100000110) = 0$

- $f_{\text{サイクルの集合}}$ の monotone 拡大をとる

$f_{\text{monotone 拡大}}(1111********) = 1$

正多面体の展開図の列挙

- ✔ **展開図**になるための**制約条件**を、BDD で表す
  → 1-path 1 つが、展開の仕方 1 つに対応
- **対称性を排除**する
  - 辺の置換を定義し、対称の同値類で代表元を残す

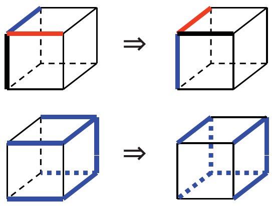
    例) 正二十面体の置換を定義する辺は、30 本
    置換は、120 個
- 「切る」/「切らない」をもとに、**展開図を作成**

対称性の排除

■ 置換による「切る」辺の移動

置換

「切る」辺

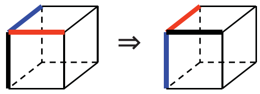


$f_{展開図}(011100100111) = 1$ $f_{展開図}(101000111011) = 1$

辞書順で大きい方を残す

対称性の排除

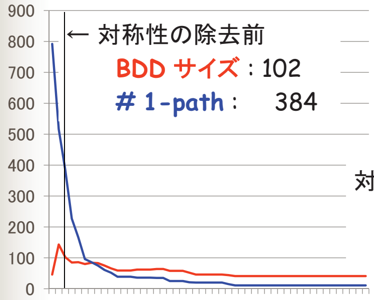
置換



$f_{展開図}(011100100111) = 1$
$f_{展開図}(101000111011) = 1$
⋮
$f := f_{展開図} \wedge (x_1 \equiv y_5)(x_2 \equiv y_1)(x_3 \equiv y_8) \cdots$ (置換による対応を作る)
$f(011100100111\ 101000111011) = 1$
$f(101000111011\ 000011110111) = 1$
⋮
$f' := f \wedge ((x_1 \overline{y_1}) \vee (x_1 \equiv y_1)(x_2 \overline{y_2}) \vee (x_1 \equiv y_1)(x_2 \equiv y_2)(x_3 \overline{y_3}) \cdots)$ (x が y より大なら残す)
$\cancel{f'(011100100111\ 101000111011) = 1}$
$f'(101000111011\ 000011110111) = 1$
⋮
$f'' := \exists y_1 \exists y_2 \cdots f'$ (y の部分を消す)
$f''(101000111011) = 1$
⋮

実験結果

■ BDD のサイズ、1-path の個数の推移 (正六面体)



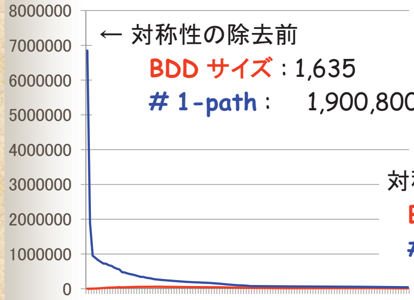
← 対称性の除去前
BDD サイズ : 102
1-path : 384

対称性の除去後
BDD サイズ : 41
1-path : 11

実行時間 0.04 秒
Intel Xeon 3.0 GHz / Debian GNU/Linux

実験結果

■ BDD のサイズ、1-path の個数の推移 (正二十面体)

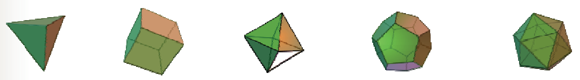


← 対称性の除去前
BDD サイズ : 1,635
1-path : 1,900,800

対称性の除去後
BDD サイズ : 13,723
1-path : 43,380

実行時間 565 秒
Intel Xeon 3.0 GHz / Debian GNU/Linux

実験結果



	正四面体	正六面体	正八面体	正十二面体	正二十面体
展開図	2 種類	11 種類	11 種類	43,380 種類	43,380 種類
BDD	8	46	35	9,595	13,737
ZDD	5	33	20	8,875	9,600
ZDD′	5	25	25	6,220	11,576

「切る」/「切らない」の 1/0 を入れ替えた ZDD のサイズ

まとめ

■ 正多面体の展開図を列挙
- 展開図になるための制約条件を、BDD で表す
  → 1-path 1 つが、展開の仕方 1 つに対応
- 対称性を排除する
- 「切る」/「切らない」をもとに、展開図を作成

■ 幾何図形の列挙が他にもできる？